

講義科目 : 経済政策 (53期生)	単位数 : 2
担当 : 熊澤 大輔	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

本科目では、資本主義経済の基本的な特徴を理解することで、現代的な諸問題（不況、失業、格差、財政赤字、少子高齢化など）を解決するための基礎知識を身につけることを目標としている。前半では、資本主義経済における成長、景気循環、市場における分配のメカニズムについて説明する。それらの知識を前提に、講義後半ではバブル形成から崩壊、長期不況、リーマンショック、アベノミクス、といった日本経済の辿った経緯を統計資料を用いて分析する。なお、講義では数学的な手法を用いる場合もあるが、図解して説明するので数学の苦手な学生にも理解できる内容となっている。

授業計画

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 資本主義経済の特徴
- 第3回 資本主義経済の運動① 長期の成長
- 第4回 市場のメカニズム① 交換の利益
- 第5回 市場のメカニズム② 所有分布の偏り
- 第6回 市場のメカニズム③ 格差の拡大
- 第7回 資本主義経済の運動② 短期の循環
- 第8回 景気のコントロール① 投資の独立性
- 第9回 景気のコントロール② 乗数効果
- 第10回 景気のコントロール③ 一般均衡モデル
- 第11回 日本経済① 1983-1993
- 第12回 日本経済② 1993-2003
- 第13回 日本経済③ 2003-2013
- 第14回 日本経済④ 2013-現在
- 第15回 総論

教材・テキスト・参考文献等

参考文献

- ・ 置塩信雄；鶴田満彦；米田康彦(1988) 『経済学』 大月書店
- ・ 橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭・斎藤直(2019) 『現代に本経済(第4版)』 有斐閣アルマ
- ・ 松尾匡(1999) 『標準マクロ経済学』 中央経済社
- ・ 松尾匡(2010) 『不況は人災です!』 筑摩書房
- ・ 三土修平(1995) 『初歩からのミクロ経済学』 日本評論社

成績評価方法

中間レポート(40%)

期末レポート(60%)

※毎回出席をとり欠席回数が6回以上の場合評価対象外となります。